

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	03	01	02	0401	高齢者在宅生活支援事業
総合計画	分野	暮らし			
	政策	2-5	福祉の充実		
	施策	2	高齢者福祉の充実		
目的	高齢者の在宅生活の支援				
対象	高齢者等				
意図	高齢者が安心、安全で自らの意思が尊重されたなかで在宅生活ができるよう多様な福祉サービスの提供により支援する。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
	<p>【ひとり暮らし高齢者緊急通報体制整備】</p> <p>○緊急通報装置設置事業(発作性疾患高齢者等への緊急通報装置貸与)</p> <p>【在宅高齢者生活支援】</p> <p>○軽度生活援助事業(軽易な日常生活作業援助)</p> <p>○住宅改造補助事業(住宅改造経費補助)</p> <p>○高齢者福祉タクシー券給付事業(車等所有無し80歳超高齢者等への助成券給付)</p> <p>○日常生活用具給付事業(単身高齢者へ生活用具貸与給付)</p> <p>【寝たきり高齢者生活支援】</p> <p>○寝具洗濯乾燥消毒サービス事業(寝たきり高齢者の寝具等消毒乾燥)</p> <p>○訪問理美容サービス事業(理美容師の出張委託)</p>				
市民参画の有無	【 対象外 】				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会			<input type="radio"/> 事業協力・協定
	後援・協賛	補助・助成			<input type="radio"/> 委託
活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 在宅高齢者生活支援事業数 (寝たきり高齢者生活支援事業除く)	事業数	計画	5	5	
		実績	5	5	
② 寝たきり高齢者生活支援事業利用者延べ件数	件	計画	33	33	
		実績	49	23	
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 在宅高齢者生活支援事業利用者数	人	目標	1,339	1,449	
		実績	1,473	1,484	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		<input type="radio"/> 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
[H26成果指標の設定根拠] 『花巻市高齢者いきいきプラン2012～2014 (花巻市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画)』の策定時に成果指標項目と平成24年度から平成26年度までの目標値を設定している。	
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅高齢者生活支援事業利用者数 平成23年度実績をベース(1,149人)に、次年度以降、定数を増加し目標値としたもの。 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅寝たきり高齢者(安心カルテ登載)のうち事業利用者の割合 平成22年度における実績値(25%)に対し、翌年度以降年1ポイント増加を目標値としたもの。	
目的妥当性	<p>公共関与の妥当性</p> <p><input type="radio"/> 妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し余地がある</p> <p><input type="checkbox"/> 妥当でない</p>
有効性	<p>成果の向上余地</p> <p><input type="radio"/> 向上余地がある</p> <p><input type="checkbox"/> 向上余地がない</p>
効率性	<p>事業費・人件費の削減余地</p> <p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある</p> <p><input type="radio"/> どちらも削減余地がない</p>
公平性	<p>受益と負担の適正化余地</p> <p><input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある</p> <p><input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある</p> <p><input type="radio"/> 適正である</p>
総合評価 …上記評価結果の総括	
要介護高齢者の生活を支援する根幹的事業を実施したことで、在宅生活の維持、質の向上に資することができた。一方、当該事業による利用者数の減少がみられ、要介護認定への移行に伴う介護保険サービスの提供が増加している。	

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	03	01	02	0401	高齢者在宅生活支援事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		27,815	23,587		△ 4,228
財源内訳	国・県	3,941	2,186		△ 1,755
	地方債				
	その他				
	一般財源	23,874	21,401		△ 2,473

事業期間	○ 単年度繰返	■ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	--------	-----------------

部経営方針における目標

慣れ親しんだ地域で、共に支え合い、安心していきいきと暮らせるまちをつくる

事業開始の背景・経緯

一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しているなか、意思が尊重され自立した暮らしができるように、またその暮らしができるだけ長く継続できるよう支援していく必要がある。

事業概要

- 【ひとり暮らし高齢者緊急通報体制整備】
 - 緊急通報装置設置事業(発作性疾患高齢者等への緊急通報装置貸与)
- 【在宅高齢者生活支援】
 - 軽度生活援助事業(軽易な日常生活作業援助)
 - 住宅改造補助事業(住宅改造経費補助)
 - 高齢者福祉タクシー券給付事業(車等所有無し80歳超高齢者等への助成券給付)
 - 日常生活用具給付事業(単身高齢者へ生活用具貸与給付)
- 【寝たきり高齢者生活支援】
 - 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業(寝たきり高齢者の寝具等消毒乾燥)
 - 訪問理美容サービス事業(理美容師の出張委託)

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

介護保険制度の改正等の動きを見据えながら、生活支援に係る既存事業のほか、支援サービスの在り方を検討し、その提供体制の再構築の必要がある。

担当部署 部名 生活福祉部 課名 長寿福祉課 担当係長 坊澤 尚行 内線 514

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1ひとり暮らし高齢者緊急通報体制整備 6,267千円
緊急通報装置設置事業委託
 【委託先】株式会社アズビル
 委託料 6,206千円
 手数料 60千円
 需用費 0千円

2在宅高齢者生活支援 17,289千円
①高齢者等住宅改造補助金 4,669千円 (県1/2)
 300千円×33件
 ・補助対象工事費上限65万円(介護保険住宅改修費併用は20万円を差引)
 ・補助率:2/3 ・補助額上限:300千円

②日常生活用具給付貸与 0千円
 給付:電磁調理器、自動消火器
 貸与:老人福祉電話(市所有の電話権利の貸与)

③高齢者福祉タクシー券給付 11,438千円

④軽度生活援助事業委託 1,182千円
 800円/h×2,000時間
 ※変更点
 ・利用単価をシルバー単価へ、市の委託単価は800円、差額は自己負担
 ・手作業のみ→機械利用可

3寝たきり高齢者生活支援 31千円

①寝具洗濯乾燥消毒サービス事業委託 23千円
 【委託先】株式会社 星光舎
 単価契約 3,500円+税
 掛・敷布団各1,500円、毛布500円

②訪問理美容サービス事業委託 8千円
 【委託先】岩手県理容生活衛生同業組合花巻支部
 岩手県美容業生活衛生同業組合花巻支部